

准看護学院で厳かに戴帽式



看護の道への決意を新たにしておらおうと11月8日、三好市医師会准看護学院で戴帽式が行われました。壇上では、4月に入学した第56期生の1年生18人にナースキャップが授与され、火をともしたらうそくを手に「ナイチンゲール誓詞」を全員で斉唱しました。戴帽生を代表して西本鼓乃葉さんは「患者一人一人の声に耳を傾け、苦しみにもしっかりと向き合い、心に灯りをとすことのできる看護師になれるよう努めたい」と決意を述べました。生徒は、来年1月から市内の病院などで看護実習に臨みます。

災害避難時の困難さを体験



健康や防災について楽しく学んでもらおうと11月6日、にし阿波健康防災フェスタが西部健康防災公園予定地で開催されました。会場では、住宅防災相談やAED・心肺蘇生体験、子ども向け運動教室など約20のコーナーが設けられ多くの家族連れでにぎわいました。避難シミュレーションのコーナーでは、目隠しをした負傷者役に誘導役が声をかけながら、障害物が置かれたコース内を助け合いながら歩き、災害時の避難の困難さを体験。午後からは防災講演会も開かれ、健康と防災について楽しく学ぶ一日となりました。

華やかな行列で戦国時代を再現



三好市にゆかりのある戦国武将・三好長慶を生かして地域活性化を図ろうと11月6日、「三好長慶武者行列まつり」が三野グラウンドで開催されました。会場では真剣を用いた戸山流居合道演武や備州岡山城鉄砲隊による火縄銃の空砲演武など多彩な催しがあり、訪れた多くの見物客を楽しませました。また、武者行列では、市民や大阪府など県内外から長慶ゆかりの団体約200人が参加。よろい姿の武将や旗持ちなどに扮し、出陣式で勝ちどきを上げた後、会場周辺約4キロを威風堂々と練り歩きました。



ゴルゴ松本さんが三野体育館で「命の授業」

お笑い芸人のゴルゴ松本さんを講師に迎えて11月30日、三好市民大学講座・人権教育講演会「命の授業」が三野体育館で開催されました。約650人の参加者が集まる中、ゴルゴ松本さんは、「命」「言葉」「叶う」など漢字に込められたメッセージを笑いを交えながら紹介し「苦難、困難、災難は人生につきもの。命をつないでくれた先人はそれを乗り越えてきた。有難うは世界最高の言葉。無難な人生でなく有難うとたくさん言える人生を歩んでほしい」と語り、会場からは大きな拍手が送られました。



おもしろいこと、珍しいもの、耳よりな情報など、どんなことでもいいのでお知らせください。
三好市役所 秘書人事課 ☎ 72-7646

一足早いクリスマス気分をお届け 大地震や大雪に備える



池田幼稚園児によるクリスマスツリーの飾り付けが11月28日、阿波池田駅のホームで行われました。園児たちは高さ約1.8mのモミの木に、画用紙や紙皿で作ったサンタなどを飾り付け、かわいいツリーを完成させました。その後、園児たちは「赤鼻のトナカイ」「あわてんぼうのサンタクロース」など歌やダンスを披露し、保護者や駅利用者に一足早いクリスマス気分を届けました。古谷茉莉香ちゃんは「シルバニアのお家が欲しい。クリスマスが楽しみ」と心を躍らせていました。ツリーは12月25日まで飾られます。



直下型地震や大雪による被害を想定し11月26日、西部圏域防災訓練（県と県西部2市2町主催）が西部健康防災公園予定地を主会場として実施されました。昨年春に新設された井内ヘリポートでは、井川町消防団を中心に消防・警察・自衛隊が協力しながら救助活動や救急搬送訓練が実施されたほか、辻高校では野津後自主防災会による避難訓練、敬寿荘では福祉避難所運営訓練、東西祖谷地区では安否確認訓練などが行われ、災害時の対応手順などを確認し、防災に関する意識を高めました。

市内外から妖怪40体が勢揃い



山城町の旧上名小学校で11月20日、第16回妖怪まつりが行われ、市内外から多くの家族連れらが訪れました。今年は、児啼爺やヤマジジなど山城の妖怪に、広島県三次市の妖怪を加えた約40体の着ぐるみによる妖怪行列があり、「物怪プロジェクト三次」のメンバーが鼓踊り「三次ドンチャン」で会場を盛り上げました。最初は怖がっていた子どもも会場を練り歩く妖怪たちに次第に近づき記念撮影していました。また、地元児童の龍神神輿、妖怪バンドライブなども披露され、来場者は妖怪たちと触れ合いました。

四国第九コンサートで郷土の歌を披露

第4回四国第九コンサートが11月5日、池田総合体育館で開催されました。コンサートは3部構成のプログラムで、第1部では、各地域の合唱グループや小学校児童も参加し、東祖谷小学校校歌や箬蔵小唄、あま田尾の城など「郷土の歌」6曲が披露されました。第2部では、三好市ゆかりのソリスト真鍋美恵さんと戸邊祐子さんが美しい歌声を披露。第3部では第九「歓喜の歌」を合唱し、三好市民第九合唱団を中心に県内外の団体約80人が、一体感のある素晴らしい歌声を響かせ、会場からは惜しめない拍手が送られました。



正しい歩き方を学んでウォーキングを楽しもう

より効果的にウォーキングを楽しんでもらおうと11月24日、ウォーキング教室が池田総合体育館で開催されました。講師を務めた理学療法士の竹内大介さんは、参加者のフォームを観察しながら「しっかりかかとから着地できていますか」「お尻を締めて」「あごを引き、腕はしっかり後ろに振って」など、歩く時の基本姿勢や着地、腕の振り方など歩き方のポイントを伝えました。その後、参加者らは総合体育館を出発し、八幡神社や丸山公園をめぐる約3キロの町内ウォーキングを楽しみ、爽やかな汗を流しました。